

介護のいまがわかる！

# 介護ロボット体験会

介護人材の不足が深刻な社会的課題となる中、高齢者の自立支援の促進、質の高い介護を実現するためのICT(※)や介護ロボット等の活用が期待されています！  
※ICT…通信技術を活用したコミュニケーション

日時 **令和6年12月3日(火)**

場所 **ハローワーク鹿児島**

A 13:05~14:20 (受付12:55~)

B 13:40~14:55 (受付13:30~)

C 14:15~15:30 (受付14:05~)

【各75分程度 定員 各7名】

鹿児島市下荒田1丁目43番28号

集合場所：労働分室(駐輪場奥側)

※敷地内駐車場は終日障がい者専用駐車場になります。

申し込み方法

## 事前予約制

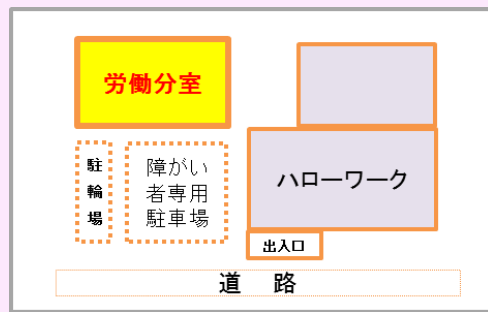
(電話・窓口・WEBで予約可)

◆A・B・Cの中から希望の時間をお伝えください

TEL:099-250-6065

(人材マッチングコーナー)

Web予約↓



動きやすい服装でお越しください♪ご参加お待ちしております！

※雇用保険受給中の方は求職活動実績になります！

※当日はマスクの着用や手指消毒などにご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

体験内容

介護分野の状況については裏面をチェック💡

### Step1

#### オリエンテーション

##### 1. 介護の就職状況

人手不足とは聞くけど…介護を取り巻く現状について説明します！



##### 2. 職業訓練について

介護福祉科【実務者研修】A  
訓練期間：6ヶ月  
実施機関：医療法人慈恵会  
(鹿児島市鷹師1-4-1-5F)

### Step2

#### 介護ロボット体験1

装着型の移乗支援ロボット (HAL、フレアリー、マッスルスーツ、ハコベルデ) で、介護者の腰への負担軽減を体感できます！

非装着型の移乗支援ロボット (Hug-T1, 移乗です) で、介護者の腰への負担がない便座や車いすへの移乗介助体験ができます！

### Step3

#### 介護ロボット体験2

最新の見守りロボット (AIスリープ、aams.介護) を活用し、離れた場所での要介助者のバイタル確認や起き上がり、離床、また睡眠の状況を確認できます！

コミュニケーションロボット PALRO と一緒に 体操やレクリエーションを体験できます！

ほかにもたくさんのロボットを展示を予定しています。

主催：  
ハローワーク鹿児島



協力：  
鹿児島県社会福祉協議会



# ～高齢化の進行とともに、様々な場面で介護を必要とする方々が増えています～



## 施設入所介護

施設などで生活（宿泊）する方に長期間または短期間のサービスを提供します

## 施設通所介護

施設に通う方に、日帰りのサービスを提供します

## 訪問介護

施設利用者の自宅で家事援助などのサービスを提供します



### ★介護職ではたらく魅力

#### ●学びが多く、人生観も高められます

サポートを介して、利用者との距離が近くなり、自分が知らないことや経験を積むことで、自分の人生観に新たな価値をプラスできます。人の温かみを感じられる魅力ある職場です。

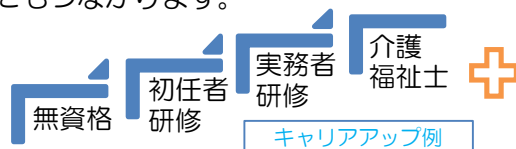
#### ●利用者の変化を日々実感できます

リハビリや生活面のサポートを通して「利用者のできることが増える」と大きなやりがいを得られます。社会や他人に貢献できる魅力もあります。

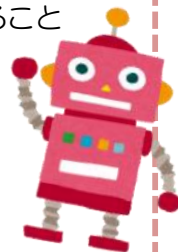
#### ●キャリアアップがしやすい

介護の仕事は誰でもキャリアアップのチャンスがあります。

- ・事業所によっては、資格取得にかかる費用を負担してくれる場合もあります。
- ・介護福祉士、介護支援専門員などの国家資格を取得できれば、自分の価値を高めることにもつながります。



資格を取得すると収入もアップすることもあるよ！



#### ●これからも需要が高まる

人口の高齢化に伴い、高齢者介護に対する需要はさらに高まることが予測され、障がい者のための施設に対する需要も高く、確実に将来性のある仕事で、だれもが安心して働ける職種となります。

- ・令和6年8月における当所の有効求人倍率 **1.11倍**
- ・令和6年8月における当所の介護分野有効求人倍率 **3.81倍**

働きやすい職場づくりを目指しているんだね

### ★職場環境や待遇も改善しています

- 介護ロボットの導入やICTを活用して、労働環境の改善にも取り組んでいます
- 介護職員処遇改善手当加算など国も働きやすい環境を後押ししています

社会や人に貢献したい人に向いている仕事だね

### ★就業するには？

- 未経験・無資格からスタートできます。
- 日常生活や心身の機能に困難のある人と接することが多いため、それぞれの状況に応じた知識と理解が必要になります。
- すべての利用者に公平に接していくことが求められます。

